

小学校向け出張授業 ご案内

①利用方法

出張授業

教員向け講習

質問状

②パッケージ授業

校庭の自然観察

チョウの飼育体験教室

ヤゴをつかまえて育てよう

利用方法

足立区生物園では、生きものに関わる知識やノウハウを教育現場へ届ける以下のプログラムをご用意しています。

【出張授業】

準備のため、1か月前(4週間前)までにご予約をお願いします。

職員が学校へ赴き、スライドやワークシートの作成、授業の補助を行います。

リモートでの対応も可能です。

基本的に1校につき1回とさせていただきます。

授業終了後、作成した計画書やスライド、ワークシートはお渡ししますので、**次年度以降の参考にご活用ください。**

	パッケージ授業	対応単元
1年生	校庭の自然観察	生活 きせつとなかよし はる・なつ 生活 きせつとなかよし あき・ふゆ
2年生	校庭の自然観察	生活 めざせ生きものはかせ
3年生	校庭の自然観察	春の生きものをさがしてみよう。 こん虫が見つかるところをさがしてみよう。
	チョウの飼育体験教室	チョウのようすをくらべてみよう。
4年生	ヤゴを捕まえて、育てよう	こん虫が見つかるところをさがしてみよう。
	校庭の自然観察	あたたかくなると 暑くなると すずしくなると 寒くなると

【教員向け講習】

生物園へ来園いただき、授業のポイントや手法をお伝えします。
必要に応じてスライドやワークシートの作成アドバイスも行います。
物品や生体の貸出は対応いたしません。

【質問状】

学校へは赴かず、電話やFAXによる相談を受け付けます。
先生及び児童に記入いただく質問状のフォーマットはお送りします。
生きものの同定や飼育のコツなど、お問い合わせください。

職員や物品、生きものの準備のため、実施制限を設けます。
ご理解とご協力をよろしくお願いします。

	出張授業	教員向け講習	質問状
回数	月2校（先着順）	月2校（先着順）	制限なし
曜日	火・木・金	火～金	開園日
時間	10時以降	午後	開園時間中

お問い合わせ

連絡先 〒121-0064 足立区保木間 2-17-1
TEL 03(3884)5577 FAX 03(3884)8996
E-mail info@seibutuen.jp

開園時間 ※閉園時間の30分前までにご入園ください
2月～10月 9:30～17:00 11月～1月 9:30～16:30

休園日 毎週月曜日（祝日の場合翌日）

校庭の自然観察

対応単元	1年生活 はるをみつけにいこう なつ、あき、ふゆともだちになろう 2年生活 めざせ 生きものはかせ 4年理科 季節と生き物
内容	学童にとってもっとも身近な環境のひとつである校庭には樹木があり、花壇があり、学校農園があります。そこに息づく生きものたちを探し、観察することで身近な自然の大切さを気付かせることができます。
実施可能期間	通年 所要時間：45～90分 対象学年 小学1年生以上
実施場所	スライド上映が可能な教室、校庭、周辺の公園



講座のながれ（およその時間配分と主な内容）

- 15分 スライド「生きもの観察のルールと手法」
自然観察のマナーや注意事項の説明、生きものを探すコツや採集の方法を紹介します。
- 20分 生きもの採集と観察
(～30分) 季節や興味に応じて様々な観察会が展開できます。
例：春の昆虫さがし 校庭を利用する野鳥たち 虫の冬越しを探そう
- 10分 まとめ
(～45分) 1年生では、生きものが生息している環境や捕まえ方に気づいてもらいます。
2年生では、見つけた生きものを飼育するところまで解説を行います。
4年生では、季節ごとの校庭の生きものの様子を調べられるよう、継続した観察を促します。

使う道具・材料

- ①生物園が準備するもの
資料、観察用具（観察ケース、虫取り網、吸虫管、双眼鏡、虫眼鏡など）
- ②学校で準備していただくもの
スライド上映ができる講義室（教室）、スクリーン、救急セット

その他

学習の展開や準備物はさまざまに考えられるので、事前に打合せと現場確認が必要です。

チョウの飼育体験教室

対応単元	3年理科 チョウをそだてよう		
内容	チョウの飼育作業を体験することで、チョウの生態や育ち方に興味・関心を持ち、観察眼を養うプログラムです。理科教育に関する実践的な場を提供し、授業後も継続したアドバイスをを行います。		
実施可能期間	5月～10月	所要時間：45分	対象学年 小学3年生以上
実施場所	スライド上映が可能な教室		



講座のながれ（およその時間配分と主な内容）

- 15分 スライド「チョウの生態と成長過程」
チョウのくらしや成長過程について解説します。また、身近な種についても紹介します。
- 20分 チョウの飼育体験
主にアゲハチョウ科の幼虫の飼育体験をグループごとに行います（状況に応じて野外観察も行います）。食草の準備を行った後、幼虫を観察しながら餌替えや掃除を行います。
- 10分 まとめ
飼育作業をする中で観察できたことや興味を持ったことについて、感想を共有します。

使う道具・材料

- ①生物園が準備するもの
資料、スライド写真
 - ②学校で準備していただくもの
スライド上映ができる講義室（教室）、スクリーン、救急セット、はさみ（人数分）、
トイレットペーパー（各グループ2個ずつ）、飼育容器一式
- ※継続の飼育を希望する場合、チョウの幼虫は学校側でのご用意をお願いします。

その他

現地でのチョウの幼虫や植栽の確認などの準備があるため、1ヶ月前には問い合わせください。当日は器具の準備などがあるため、プログラム開始の1時間前から会場の確保をお願いします。
児童1人1つのチョウは用意できません。グループ活動が前提の授業になります。

ヤゴをつかまえて、育てよう

対応単元	3年理科 こん虫を調べよう、チョウを育てよう(コオロギやトンボの育て方を調べる)		
内容	プールでトンボのヤゴをつかまえ、育てることで生活のすぐ近くにも、水辺の生物が共に暮らしていることを実感できます。また、ヤゴの見分け方やトンボの生態などの解説をします。		
実施可能期間	5月～7月 (プール清掃前) 所要時間：90分	対象学年	小学3年生以上
実施場所	スライド上映が可能な教室、プール		



講座のながれ (およその時間配分と主な内容)

- 60分 ヤゴをつかまえよう
ヤゴを捕獲しながら、トンボの種類や生態について解説します。
注意事項や作業の手順を説明します。
- 30分 ヤゴの観察
- 30分 飼育の方法
飼育の方法や必要な道具、エサの確保について説明します。
また、捕食や脱皮、羽化などの観察のポイントを解説します。

使う道具・材料

- ①生物園が準備するもの
資料
- ②学校で準備していただくもの
スライド上映ができる講義室(教室)、救急セット、魚捕り網、飼育用具、ぬれてもよい服、ぬれてもよい靴(サンダル、クロックス等は不可)

その他

事前に打合せと現場確認が必要です。
実施中の安全管理については原則、学校(教員の方)にお願いします。
プール清掃前の環境が必要です。清掃時期を確認のうえ、清掃1か月前までにご連絡ください。